

中部地方の貴重ないきものたち

イタセンパラ

🐟 貝の中で冬を越す赤ちゃん 🐟

[和名] 板鮮腹

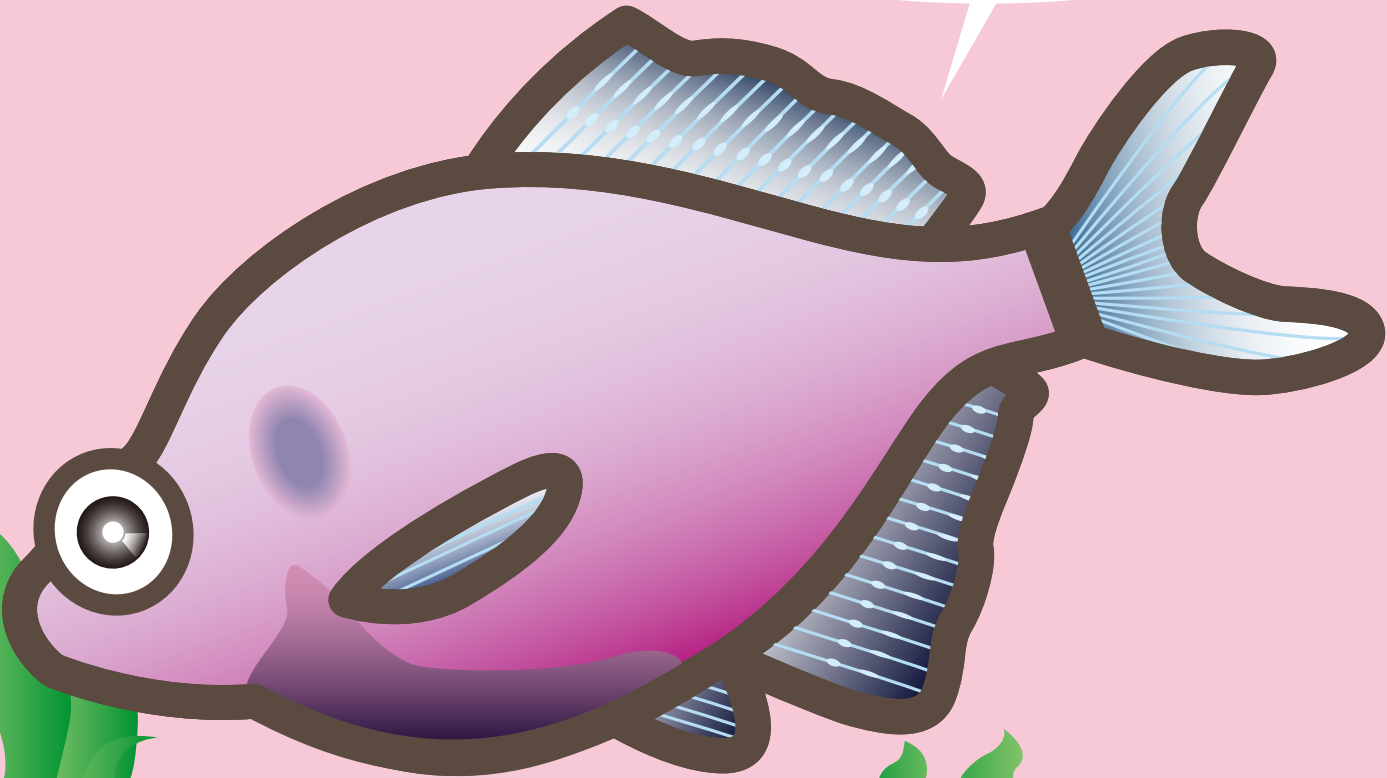
[学名] *Acheilognathus longipinnis*

[分類] コイ目コイ科タナゴ属

[全長] 10cm 前後

[減少の原因] 密猟、外来生物、生息環境の悪化

秋の産卵時期になるとオスは体が
キレイな淡紅色(婚姻色)になるんだよ!



環境省

中部地方環境事務所

絶滅種

◀危険

EX
Extinct
絶滅

EW
Extinct in the Wild
野生絶滅

CR
Critically Endangered
絶滅危惧ⅠA類

EN
Endangered
絶滅危惧ⅠB類

VU
Vulnerable
絶滅危惧Ⅱ類

NT
Near Threatened
準絶滅危惧種

DD
Data Deficient
情報不足

かけがえのない郷土の財産「イタセンパラ」



婚姻色の鮮やかなオス



産卵管の伸びたメス

ぜつめつきぐしゅ 絶滅危惧種ⅠA類 CR

ごく近い将来に絶滅する危険あり

国内希少野生動植物種（種の保存法）や、国の天然記念物（文化財保護法）に指定されている貴重な魚で、捕まえるには特別な許可が必要です。ここ濃尾平野では木曾三川流域などに広く生息していましたが、今では木曾川など限られた場所で見つからず、絶滅が心配されています。

こないきもの

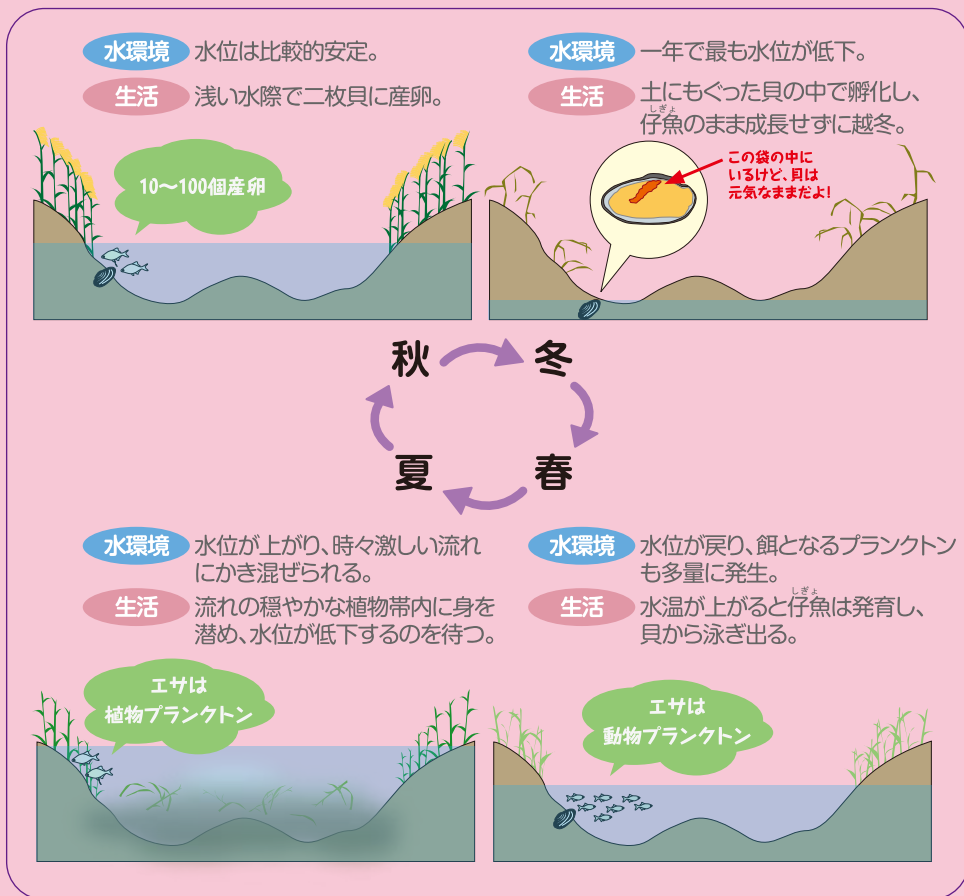
板のように平らで鮮やかなお腹を持つことからこの名前がついたんだよ。

川の流れのない場所に住んでいて二枚貝の中に卵を産む「たなご」の仲間なんだ。

イタセンパラは自分の住む川の貝を「におい」で見分けられるんだ。貝に赤ちゃんを守ってもらうから、貝のいる環境がとても大切なんだよ。

生息地

濃尾平野・富山平野・大阪平野の一部の地域にしかないんだ!



イタセンパラを守るための環境省のとりくみ

- 環境省では、水族館や人工の池などで木曾川生まれのイタセンパラを人工的に増やしています。
- イタセンパラが他の場所に生息していないか調査をしています。
- 密漁を防ぐためのパトロールにも地元の人たちと一緒に参加しています。
- みんなにイタセンパラを知ってもらうために水族館と一緒に勉強会などを行っています。